

自立活動学習指導案（実践C）

1 単元名 「友達の気持ちや考えを想像しよう」

2 単元観

本単元は、他者理解に必要な力を「みる・きく（相手に注意を向け、話の内容を正確に理解・記憶し、共感的に見たり聞いたりして反応を相手に示す行為）」活動を通して高めることを目指している。これは、特別支援学校学習指導要領に示されている自立活動の内容「3 人間関係の形成（1）他者とのかかわりの基礎、（2）他者の意図や感情の理解、（3）自己の理解と行動の調整」「6 コミュニケーション（1）コミュニケーションの基礎的能力、（2）言語の受容と表出」に主に関連している。

本単元は4時間で計画した。まず、自分の好みを答えることから身近な友達の好みを予想することへ、次に質問に対する応答を聞いて友達の考えを予測することへと活動を発展させる。その後、写真に写る人物の表情や背景を参考にしたりしながら気持ちを推測し、最後は児童同士で気持ちを合わせて答えを一致させる全員一致ゲームを行う。ゲーム性のある活動を取り入れることで、楽しみながら児童同士で関わり合い、友達を観察したり、互いに気持ちや考えを分かろうと歩み寄ったりする姿が増えたと期待できる。

各ゲーム、自分で選択できるように選択肢を設けたり、イラストや写真を効果的に活用したりして、児童が興味をもって主体的に「みる・きく」活動に取り組める資料を準備することとする。

3 児童の実態及び指導方針 ※（ ）は、「みるきくパッケージ」のⅠシートで示されたタイプ

本単元に関わる児童の実態は、

- ・好きな活動や得意な活動では20～30分間集中して取り組むことができるが、不都合があると内容を変えるなど自分中心で物事を考えやすい。（B3タイプ）
- ・友達と分け合う、友達を助けるなどの行動をとることができるが、自分の視点で物事を捉えやすく、友達の気持ちを想像したり理解したりしながら関わることが苦手だったり、自分の視点で物事を捉えやすく相手の話をさえぎって話し始めたりすることがある。（C1タイプ）
- ・好奇心があり、教師や友達に「何？」と尋ねることもあるが、まだ日本語の語彙が少なく、学習の内容を理解できないことが多い。（C2タイプ）

などである。

これまで、自立活動では、自分の聞こえ方や音のマナーについて学習し、友達や教師にインタビューをしたり、話を聞き取ってメモをしたりする練習を行ってきた。また、「みる・きく」についてもトーキングゲームを使って学習し、最後まで聞く、分からない時は質問するなど、徐々に身に付いてきた様子も見られる。

自立活動の時間は、目標に合わせて個別指導や集団指導を行っている。児童の聞こえの程度、コミュニケーション手段、理解力等はそれぞれ異なるが、他者を理解する力を身に付けるためには、集団を構成した指導が効果的であると考え、本単元はグループでの学習を行う。

4 単元の目標

(1) 全体の目標 ゲーム性のある活動を通して、友達の気持ちや考えを想像することができる。

(2) 個別の目標 ※「みるきくパッケージ」Ⅱシートを参考にして立てた本単元の個別の目標

B3タイプの児童：友達の発表を見たり聞いたりして、色々な考え方に気付くことができる。【人間関係の形成(3)】

C1タイプの児童：友達の気持ちを想像しながら見たり聞いたりできる。【人間関係の形成(1)(2)】

C2タイプの児童：友達の発表に興味をもって見ることができる。【人間関係の形成(1)(2)】










絵や身振り等から内容を理解することができる。【環境の把握(3)(4)】


5 指導と評価の計画（全4時間）

時間	○行った主な活動 (ⅢシートやⅣシートを基に作成)	個別の評価項目		
		B 3タイプ	C 1タイプ	C 2タイプ
1	<p>「友達はどれを選ぶか考えよう」</p> <p>○3つの選択肢の中から、自分が好きなものを1つ選んで発表したり、友達の好きなものを聞いたりする。</p> <p>○3つの選択肢の中から、友達はどれを選択するかを予想して当てるゲームをする。</p>	友達の好みやその理由に興味をもって見たり聞いたりしている。	友達の好みは何かを考えながら、見たり聞いたりしている。	絵や文字から問題の内容を理解し、友達がどれを選択したか結果が分かっている。
2	<p>「友達はどれを選ぶかな？質問をして当てよう」</p> <p>○複数ある選択肢（6～8個）の中から、友達はどれを選択するかを当てるゲームをする。質問タイムと相談タイムを使って、みんなで予想を1つに絞っていく。</p>	自分とは別の考え方があることに気付いている。	質問の回答を聞いて、友達がどれを選択したか想像している。	他の児童の質問と回答のやりとりを興味深く見て、分からなかったときに自分から「何？」と発信している。
3	<p>「写真を見て、気持ちを想像しよう」</p> <p>○提示された写真に写っている人物の表情や背景から気持ちを推測するゲームを行い、推測した気持ちを発表し、聞き合う。</p>	友達の発表を聞いて、一枚の写真でも複数の捉え方ができると気付いている。	写真に写っている背景や表情を参考にしながら、人物の気持ちを推測している。	友達の発表に興味をもって聞き、分からないときは「もう一度お願い」と自分から伝えている。
4	<p>「みんなで答えを合わせよう」</p> <p>○「みんなで答えを合わせようゲーム」をする。全員の回答が一致するように、友達の発言を参考にするなど工夫して考える。</p>	友達の発言を参考にしながら、他の子はどのような回答を書いているか推測し、自分の回答を決めている。	友達がどんな答えを書くか想像し、同じ答えを書こうとしている。	例題を通して、問題の意味を理解している。教師が用意したイラスト集を見て、答えを選ぶことができてい

6 第1時の展開

- (1) ねらい 友達はどれを選ぶかを予想して当てるゲームを行うことを通して、自分から身近な友達へ視点を変えて考えることができるようにする。
- (2) 準備 スライド、振り返りシート、評価シート（教師用）、話し合いの約束
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 5分	<p>1 単元と本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 単元のめあて 友達の気持ちや考えを想像しながら、ゲームをしよう。 </div> <p>○自分が好きなものを選び、選んだ理由を互いに聞き合う。（2問）</p> <p>例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あなたが好きなカレーはどれですか？ それはどうしてですか？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <small>① 野菜カレー</small>  </div> <div style="text-align: center;"> <small>② ビーフカレー</small>  </div> <div style="text-align: center;"> <small>③ シーフードカレー</small>  </div> </div> </div> <p>・肉は噛み応えがあっておいしいから②を選びました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 本時のめあて 友達はどれを選ぶか考えよう。 </div>	<p>・「話し合いの約束」を全体で確認し、意識付けのため黒板右端に掲示しておく。</p> <p>○スライドは写真やイラストを入れ、内容が分かりやすく、興味を引くよう作成する。</p> <p>・自分が選んだ数字はそれぞれ指で表し、教師の掛け声で全員同時に掲げるようにする。互いに見合った後、選んだ理由を一人ずつ発表する。</p>
展開 ① 5分	<p>2 活動内容を理解する。</p> <p>○T1が選ぶものを予想する（1問）</p> <p>例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○○先生は、 白玉やきに何をかけて食べるでしょう？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <small>ア. ソース</small>  </div> <div style="text-align: center;"> <small>イ. ケチャップ</small>  </div> <div style="text-align: center;"> <small>ウ. しょうゆ</small>  </div> </div> </div> <p>・私はケチャップが嫌い。だからアかうだと思う。</p> <p>・先生が好きそうなのは…。</p> <p>○予想と予想した理由を出し合った後、答えを発表する。</p> <p>・T1「先生はイを選びました。なぜなら…だからです。」</p>	<p>◎今度は友達が好きなものを予想するゲームを行うことを伝える。</p> <p>・最初の1問はT1が前に出る役を行うことで、ゲームの進め方や答え方などが見て分かるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ゲームの進め方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①一人前に出て、一つ選ぶ。 ②他の子は、どれを選ぶかを予想する。 ③「せーの」で数字を出す。 ④予想した理由を言う。 ⑤前に出た子は、答えと理由を発表する。 ⑥前に出た子が「終わり。次どうぞ」と、次の人を指名する。 </div>
展開 ② 10分	<p>3 友達がどれを選ぶかを予想するゲームを行う。（5問）</p> <p>○友達がどれを選ぶかを予想する。</p> <p>例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>4. ○○さんが、 一番とくいなものはどれでしょう？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <small>① すいすい</small>  </div> <div style="text-align: center;"> <small>② かけっこ</small>  </div> <div style="text-align: center;"> <small>③ てつぱう</small>  </div> </div> </div> <p>・私は①が好きだけど…。</p> <p>・△△さんは足が速いから②だと思う。</p> <p>○答えを発表する。</p> <p>・私（前に出た子）は、泳ぐのが好きなので、①を選びました。</p>	<p>・前に出る順番を決める。</p> <p>・ゲームのルールに従って進める。</p> <p>・前に出る児童は、他児が発表（手話）とスライドの両方見やすいように、スライドを映したTVモニターの横に立つようにする。</p> <p>◎前に出た児童が「次どうぞ」と次の児童へバトンを渡すことで、友達に意識を向けられるようにする。</p> <p>・児童が友達の発表を見ていないときは、見るように促す。</p>

<p>展開 ③ 20 分</p>	<p>4 友達がどれを選ぶか、みんなで相談して予想するゲームを行う。(5問)</p> <p>○友達がどれを選ぶか想像し、みんなで相談して一つに決める。</p> <p>・「前にヨーヨー釣りをしたって言っていたよ」「じゃあ、③かな」…</p> <p>例)</p> <div data-bbox="316 405 590 562"> <p>1. ○○さんが、おまつりでしたいことはどれでしょう?</p>  </div> <p>○答え合わせをする。</p> <p>・私たちは〜だと思ったので、③を選בוと思いました。</p> <p>・私(前に出た子)は、魚が好きなので、①を選びました。</p>	<p>◎前に出た友達をより意識し、視点を変えて考えられるよう、友達と相談して考える機会を作る。</p> <p>・追加したルールを説明する。</p> <div data-bbox="782 280 1372 416"> <p>追加ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で予想する (30 秒) ・みんなで相談して一つに決める (2 分) ・代表者が答えと予想した理由を答える。 </div> <p>・相談する場面で、発言ができない児童については、教師が促しをするなどして、みんなで話し合っているという雰囲気を作るようにする。</p> <p>○代表の児童を決め、選んだ理由を説明する。</p> <p>◇B 3 : 友達の好みやその理由に興味をもって見たり聞いたりしている。</p> <p>◇C 1 : 友達の好みは何かを考えながら、見たり聞いたりしている。</p> <p>◇C 2 : 絵や文字から問題の内容を理解し、友達がどれを選択したか結果が分かっている。</p>
<p>まとめ 5 分</p>	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>○気付いたことや感想を発表する。</p> <p>・当てるのが難しかった。</p> <p>・自分とは好きなものが違った。</p> <p>・理由を聞くのが楽しかった。</p> <p>○振り返りシートに記入する。</p>	<p>・教師は、友達の発言に頷いて反応を示していた、分からなかったところを質問できた、友達の視点で考えられていたなど、具体的な場面を取り上げながら「みる・きく」姿を賞賛する。</p>

(4) 板書計画

友だちの気持ちや 考えを 想像しながら ゲームをしよう。

めあて 友達は どれを 選ぶか 考えよう。

ゲームの進め方

- ①一人前に出て、一つ選ぶ。
- ②他の子は、どれを選ぶか予想する。
- ③「せーの」で数字を出す。
- ④予想した理由を言う。
- ⑤前に出た子は、答えと理由を発表する。
- ⑥前に出た子が「終わり。次どうぞ」と、次の人を指名する。

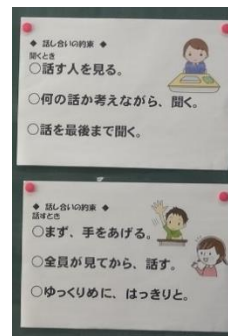
追加ルール

- ・個人で予想する (30 秒)
- ・みんなで相談して一つに決める (2 分)
- ・代表者が答えと予想した理由を答える。

○気付いたこと・感想


- ・みんなの好きなことが分かってうれしかった。
- ・いっぱい当たってうれしかった。
- ・友だちの答えをそうぞうするのはむずかしかった。
- ・…

話し合いの約束



7 第2時の展開

- (1) ねらい 複数の選択肢から友達は何れを選ぶか、質問をして予想を絞って当てるクイズを行うことを通して、友達の思考に寄せて考えることができるようにする。
- (2) 準備 スライド、振り返りシート、評価シート（教師用）、話し合いの約束
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 3分	1 本時のめあてをつかむ。 ○前時の活動を振り返る。 ・前は、前に出た子がどれを選ぶかみんなまで相談して当てたよ。 本時のめあて 友達は何れを選ぶかな？質問をして当てよう。	・「話し合いの約束」は、黒板右端に掲示しておく。 ・前時の活動を振り返る中で、ルールやできたこと等を全体で確認する。
展開 ① 10分	2 活動内容を理解する。 ○練習のスライドを見る。（1問）  ・（スライドを見て）数が多くて当てるのは無理だよ。 ○T1に向かって質問をする。 ・米は入っていますか。 ・チーズは乗っていますか。 ○みんなで話し合って、答えを一つに決める。 ・卵を使うって言っていたから、オムライスだと思う。 ・チャーハンかもしれないよ。 ○活動のポイントを知る。 <div>大切なこと ・全員で話し合う ・友達の意見を認める ・協力して答えを一つに決める</div>	・練習スライドを提示し、T1が手本を見せながら、ゲームの進め方を確認していく。 ◎選択肢を増やし、そのままでは予想して当てるのが難しい問題にする。 ・ゲームの進め方は前回と同様とするが、みんなで相談して答えを一つに決める時間を設ける。 <div>ゲームの進め方 ①一人前に出る。一つ選び、選んだ番号をホワイトボードに書く。 ②質問タイム3分 ③相談タイム3分（一つに決める） ④ホワイトボードに書く。 ⑤発表（理由も述べる） ⑥答え合わせ</div> ○児童から質問が出ない場合、T2が手を挙げ、「辛い食べ物ですか？」や「卵を使いますか？」などと質問して見本となる。T1はそれに「辛くありません」や「はい、卵を使います」などと答える。 ○質問の答えは、見て確認したり、話し合いの参考にしたりできるよう、板書をしていく。 ・「カレーですか？」のように、名前を聞いてはいけないこととする。 ・ホワイトボードに誰が書くかは、児童同士で相談して決める。 ○この活動のポイント（大切なこと）を提示し、意識しながら活動できるようにする。
展開 ② 25分	3 ゲームをする。 ○話し合って一つに決める場面 ・違うよ、絶対○○だよ。 ・私は～だと思う。質問の答えが…だったから。 ・△△ちゃんはどれだと思う？	・相談は全員で話し合うように促す。 ○友達の考えを否定したり、自分の考えを押し付けたりするのではなく、○○さんだったらどうかと考えることがポイントであることを伝える。 ○T2は、質問の答えを板書していく。 ◇B 3：自分とは別の考え方があることに気付いている。 ◇C 1：質問の回答を聞いて、友達がどれを選択したか想像している。

		◇C2：他の児童の質問と回答のやりとりを興味深く見て、分からなかったときに自分から「何？」と発信している。
まとめ 7分	<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○ゲームを通して気付いたことや感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考えたところが面白かった。 ・質問したらすぐ答えが分かった。 ・みんなの考えが違って、まとめるのが大変だった。 <p>○振り返りシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことや感想を板書する。 ・友達を意識した感想が出てくるように、「相談する場面ではどうだった？」など、場面を区切って尋ねてもよい。

(4) 問題例



(5) 板書計画

めあて 友達は どれを 選ぶかな？ 質問をして当てよう。

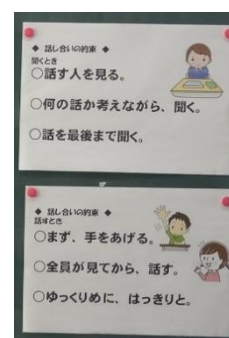
- ルール
- ①一人前に出る。一つ選び、選んだ番号をホワイトボードに書く。
 - ②質問タイム3分
 - ③相談タイム3分（一つに決める）
 - ④ホワイトボードに書く。
 - ⑤発表（理由も述べる）
 - ⑥答え合わせ

- 大切なこと
- ・全員で話し合う
 - ・友達の意見を認める
 - ・協力して答えを一つに決める

第1問のヒント（質問の答え）

- ・塩は入っていないと思う
- ・甘くない
- ・ちょっと硬い
- ・黄色だけ

話し合いの約束



8 第3時の展開

- (1) ねらい 写真に写る人物の表情やその背景を参考にしながら、吹き出しに入る言葉を考えることを通して、自分を相手の立場に置き換えて気持ちを推測できるようにする。
- (2) 準備 スライド、振り返りシート、評価シート（教師用）、話し合いの約束、拡大写真（A3）
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 7分	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○写真を見て、分かることを発表する。</p> <p>・男の子とお母さんかな？プールに入っているね。</p> <p>・男の子は…泣いているみたいだよ。</p> <p>・お母さんは誰かと話しているのかな？</p> <p>○本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて 写真を見て、気持ちを想像しよう。</p>	<p>・「話し合いの約束」を黒板右端に提示しておく。</p> <p>・泣いている男の子の写真をTVモニターに提示する。</p> <p>◎写真はどんな場面か、人物や場所、状況など分かることを発表させ、共通の認識を持てるようにする。</p> <p>○教師は「なるほど」「そうだね」など、共感的な反応を示し、児童からの自由な発想を引き出す。</p>
展開 ① 8分	<p>2 写真を見て、気持ちを推測する。</p> <p>○男の子の気持ちを考える。</p> <p>・怖い。</p> <p>・早く出たい。</p> <p>・お母さん、気付いてよ。</p> <p>○活動のポイントを知る。</p> <p>大切なこと</p> <p>①写真に合った気持ちを想像する</p> <p>②自分と違う意見を認める</p>	<p>・導入で使った写真に、吹き出しをつけた写真を提示し、男の子はどのような気持ちか理由とともに発表させる。</p> <p>○気持ちを想像することが難しい児童がいた場合は、似たような経験をしたことがあるか尋ね、そのときの気持ちを想起させる。</p> <p>◎A3に拡大した吹き出し付きの写真を黒板に貼り、児童が発表した気持ちを記録していく。</p> <p>○この活動のポイント（大切なこと）を提示し、意識しながら活動できるようにする。</p>
展開 ② 25分	<p>3 吹き出しに入る気持ちを推測する。</p> <p>○活動内容を知る。</p> <p>ゲームの進め方</p> <p>①一人前に出て、好きな数字を選んでクリック！</p> <p>②テレビに映った写真を見て、吹き出しに入る気持ちを考える。</p> <p>③前に出た子が発表する。</p> <p>④みんなの考えを聞く。</p>	<p>◎気持ちを推測しやすいよう、児童が経験したことのありそうな場面の写真を用意する。</p> <p>○数字と写真をリンク付けして好きな数字を選ぶと写真が表示されるようにしておく。</p> <p>・手本を見せながら手順を説明する。</p> <p>・発表の順番を決める。</p> <p>○気持ちを推測できない児童がいた時は、他児はどう考えたか尋ね、参考にできるようにする。</p> <p>○児童が見て参考にしたり、活動の振り返りにしたりで</p>

	<p>○写真を見て、吹き出しに入る気持ちを考えて発表し、聞き合う。</p> <div data-bbox="298 232 632 459" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あっちで遊びたいな。 ・写真撮られて嫌だな ・もう帰りたいな。 ・足が熱いな。 	<p>きるように、選択した写真は黒板に貼って教師が気持ちを書きしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に出た児童の発表が終わったら、他児の考えも発表してもらう。 ・写真を選ぶ→気持ちを考える→発表する→他の子の意見を聞くという流れで、一人2～3分くらいを目安に進める。 <p>◇B 3：友達の発表を聞いて、一枚の写真でも複数の捉え方ができると気付いている。</p> <p>◇C 1：写真に写っている背景や表情を参考にしながら、人物の気持ちを推測している。</p> <p>◇C 2：友達の発表に興味をもって聞き、分からないときは「もう一度お願い」と自分から伝えている。</p>
ま と め 5 分	<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○気付いたことや感想を発表する。</p> <p>○振り返りシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は「大切なこと」を意識して、活動に取り組んでいたことを賞賛する。

(4) 写真例



(5) 板書計画

めあて 写真を見て、気持ちを想像しよう。

進め方

- ①写真を選ぶ
- ②気持ちを考える
- ③発表する
- ④他の子の意見を聞く

大切なこと

- ①写真に合った気持ちを想像する
- ②自分と違う意見をみとめる

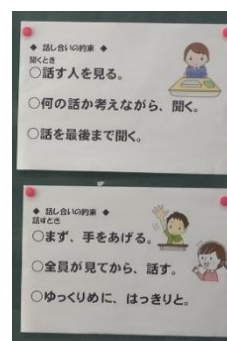
写真 1

写真 4

写真 2

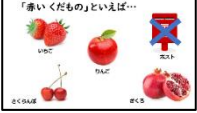
写真 3

話し合いの約束



9 第4時の展開

- (1) ねらい 「みんなで答えを合わせようゲーム」をすることを通して、友達はどう答えるか推測したりお互い協力しようとしたりする気持ちを育てる。
- (2) 準備 スライド、ホワイトボード（5枚）、ホワイトボードマーカーペン（5本）、振り返りシート、評価シート（教師用）、図鑑、話し合いの約束
- (3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◎研究上の手立て ○指導上の留意点及び支援 ◇評価
導入 2分	1 今日のめあてを知る。 <div>本時のめあて みんなで答えを合わせよう。</div>	・「話し合いの約束」を黒板右端に提示しておく。
展開 ① 5分	2 「みんなで答えを合わせようゲーム」の進め方を理解する。 ○例題に取り組み、ゲームの進め方を理解する。 例：「赤いくだものといえぽ」 ・いちご ・さくらんぼ ・りんご ・（提示されたスライドを見て）ポストは違うよ！	<div>ゲームの進め方</div> <div>①問題を見て、ホワイトボードに答えを一つ書く。 ②みんな一緒に答えを出す。 ③みんな同じ答えなら大成功。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1セットずつホワイトボードとペンを配る。（T2） <p>◎例「赤いくだものといえぽ」について、どんなものがあるか、口頭で答えさせる。</p> <p>○題意の確認や語彙の広がりにつなげるよう、赤い果物を集めたイラストを用意しておき、児童が答えを出し終わった後に提示する。</p>  <p>○考える時間は1分程度とするが、様子に合わせて時間は調整する。単語が分からない時は、絵で表してもよいこととする。</p> <p>◇C2：例題を通して、問題の意味を理解している。</p>
展開 ② 8分	3 「みんなで答えを合わせようゲーム」をする。（2問） ・残念、なかなかそろわない。 ・今度はみんなが好きなものを書こう。 ・どうしてそんな答えを書くの？違うって分かるでしょ。	<p>○問題のテーマは、生活で身近なものや全員が経験したことのあることなどとする。</p> <p>○C2タイプの児童も回答できるよう、問題に関するイラスト集などを用意しておき、自分で選んで答えられるようにする。</p> <p>・答えを出した後、関係のある写真を集めたスライドを提示し、語彙を増やすことにもつなげていく。</p>
展開 ③ 5分	4 全体で感想を共有する。 ○ゲームをした感想を発表する。 ・なかなか5人合わないね。 ・質問とか相談すれば合うと思う。 ・答えは言っちゃダメだけど、形を表すのはどう？	<ul style="list-style-type: none"> ・T1は、児童へやってみた感想を聞いたあと、答えを合わせるために、どのようにすればよいか、考えさせる。
展開 ④ 20分	5 工夫して「みんなで答えを合わせようゲーム」をする。 ・それは丸いですか。 ・このくらいの大きさだよ。（身振りで大きさを表している。） ・私書いたのは、色が茶色。	<p>○児童の発言は、同じ答えを導くための参考となるように板書しておく。</p> <p>◇B3：友達の発言を参考にしながら、他の子はどのような回答を書いているかを推測し、自分の回答を決めている。</p> <p>◇C1：友達がどのような答えを書くか想像し、同じ答</p>

		えを書こうとしている。 ◇C2：教師が用意したイラスト集を見て、答えを選ぶ ことができている。
ま と め 5 分	5 振り返りをする。 ○気付いたことや感想を発表する。 ・みんなで同じ答えにそろえるのは大変 だと思った。 ・そろったときは、嬉しかった。 ○振り返りシートに記入する。	・みんなで答えを合わせる工夫を尋ね、まとめとする。 ・T2は記録として、板書の写真を撮っておく。

(4) 問題例

- ・「白色の食べ物」といえば？
- ・「お祭りで売っている食べ物」といえば？
- ・「夏つかうもの」といえば？
- ・「緑色のやさい」といえば？
- ・「給食でみんなが好きなメニュー」といえば？
- ・「まるい食べ物」といえば？

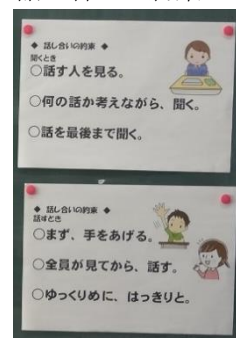
(5) 板書計画

めあて みんなで答えを合わせよう。

「給食でみんなが好きなメニュー」「お祭りで売っている食べ物といえ

- ・野菜は入っていない
- ・きなこを使う
- ・パンを使う
- ...
- ・小さくて丸い
- ・つまようじを使う
- ・赤くない
- ・ソースを使う
- ...

話し合いの約束



10 振り返りシート（第1時～第4時で使用）

自立活動「みる・きく」振り返りシート
()年()組 名前()

単元のめあて ()
友達()の気持ちや考えを想像しながら、ゲームをしよう。

今日のめあて ()
今日の勉強で分かったことや感想を書きましょう。

月	日	①友達は何を選び、考えられた。	😊	🙂	😞
			ばっちりできた	少しできた	できなかった
		②話し合いの約束(話すとき)が守れた。	😊	🙂	😞
		③話し合いの約束(聞くとき)が守れた。	😊	🙂	😞

今日のめあて ()
今日の勉強で分かったことや感想を書きましょう。

月	日	①友達は何を選び、考えられた。	😊	🙂	😞
			ばっちりできた	少しできた	できなかった
		②質問ができた。	😊	🙂	😞
		③話し合いの約束(話すとき)が守れた。	😊	🙂	😞
		④話し合いの約束(聞くとき)が守れた。	😊	🙂	😞

今日のめあて ()
今日の勉強で分かったことや感想を書きましょう。

月	日	①写真を見て、どんな気持ちか想像できた。	😊	🙂	😞
			ばっちりできた	少しできた	できなかった
		②話し合いの約束(話すとき)が守れた。	😊	🙂	😞
		③話し合いの約束(聞くとき)が守れた。	😊	🙂	😞

今日のめあて ()
今日の勉強で分かったことや感想を書きましょう。

月	日	①みんなと同じ答えになるようにがんばった。	😊	🙂	😞
			ばっちりできた	少しできた	できなかった
		②話し合いの約束(話すとき)が守れた。	😊	🙂	😞
		③話し合いの約束(聞くとき)が守れた。	😊	🙂	😞

まとめ
友達()の気持ちや考えを想像しながら、ゲームができましたか？

	😊	🙂	😞
	ばっちりできた	少しできた	できなかった